

## 主催者挨拶

### 一般社団法人日本経済調査協議会 専務理事 杉浦哲郎

皆さま、大変お待たせいたしました。定刻になりましたので、これより日経調公開シンポジウムを始めさせていただきます。私は、日本経済調査協議会（日経調）の専務理事を務める杉浦と申します。平素は日経調の活動にご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。また、本日はお忙しい中、このようにたくさんの皆さま方にお集まりいただき、厚く御礼申し上げます。

当会は、一昨年の 8 月に大妻女子短期大学の玉木伸介教授を主査に迎え、年金リテラシー研究会を立ち上げました。その後、2 年に及ぶ調査・研究を経て、近日中に研究報告書を公表する予定にあります。研究会の問題意識は、公的年金制度の正しい理解ということです。これまでの公的年金に関する報道や議論を見ていると、「いずれわが国の公的年金制度は破綻する」、あるいは、「世代間の不公平が拡大している」として、特に、若年層の年金制度に対する不信感を強めるような内容のものが多かったように思います。

このような評価が正しいのかどうか。公的年金制度に対する機能や原理についての正しい理解というものを踏まえた上で、今後の制度のあり方を考えるべきではないか。これが、研究会での問題意識でありましたし、今日のシンポジウムにおいても主要なテーマです。

本日のプログラムは、お手元のご案内のとおり 2 部で構成されています。第 1 部は基調講演とパネルディスカッションです。基調講演は、まず朝日新聞で長年、年金の報道に携わってこられた太田啓之記者から、『年金報道の変遷』ということでお話をいただきます。続いて、玉木伸介教授から『公的年金の原理』についてお話をいただく予定です。

その後、パネルディスカッションに移り、玉木教授をモデレーターとして、大阪経済大学経済学部教授の高橋亘様、ライフネット生命保険会長兼 CEO の出口治明様、法政大学理工学部教授の中村洋一様のお三方にパネリストとしてご登壇いただき、パネルディスカッションを行います。

そのあと休憩の時間を取ります。ロビーにお飲み物を用意しておりますので、ご利用ください。

第 2 部は、公民科教員による「年金」模擬授業を予定しています。講師は、高等学校の公民科教師として長年ご活躍され、現在は昭和音楽大学講師をお務めになっている梶ヶ谷穰様に講義をお願いし、現役の大学生に受講生を務めていただきます。



本日のプログラムは、このように、現在の年金制度の問題点や存在意義について多角的な視点からさまざまな材料・視点を提供する構成になっております。今日のシンポジウムが皆さま方にとってお役に立てれば幸甚と存じます。また、本日のシンポジウムは、厚生労働省からご後援をいただいております。この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

最後に、皆さまのお手元にアンケート用紙が入っておりますので、休憩時やお帰りのときに、ご記入の上、出口のボックスに投函していただければありがたく存じます。

それでは、第1部の基調講演を始めます。太田様、よろしくお願いいたします。